



JAMBOREE INFORMATION #03

第17回日本スカウトジャンボリー 大会情報 ジャンボリーインフォメーション 第3号 2018年6月21日発行

会期：2018年8月4日～10日（金）

参加者：13,000人

会場：石川・珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

テーマ：冒険 ～能登のチカラ未来へ～

ジャンボリーインフォメーションとは？

ジャンボリーインフォメーションは、各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに3回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきますので、ホームページで公開される情報に加えて、準備に活用してください。

目次

参加者・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	信仰奨励、各教宗派の集い・・・・・・・・	10	ローバーのための	
会場での受付、到着・出発の流れ・	2	サブキャンプライフ・・・・・・・・・・	11	プログラム”ロバモン”・・	22
会場内での自転車の利用・・・・・・・・	4	ジャンボリー会場・・・・・・・・・・	14	各種メディア・・・・・・・・・・	22
支給品（ワッペン・IDカード）、		最新会場図・・・・・・・・・・	15	開催地 能登・珠洲情報・・	23
ガイドブック類の紹介・・	5	健康と安全管理・・・・・・・・・・	16	ふるさと納税・・・・・・・・・・	24
プログラム最新情報・・・・・・・・・・	6	カウンセリング・・・・・・・・・・	19	大会お応援サポーター・・	24
ジャンボリー・アワード・・・・・・・・	9	大会運営スタッフ・・・・・・・・・・	20	関連ホームページ・・・・・・・・	24
全体行事・・・・・・・・・・・・・・・・	9				

参加者

参加確定申し込み人数

2018.06.14 現在

国内のボーイスカウトとガールスカウトから約12,700人、外国参加者は12の国と地域から約600人、合計約13,300人の参加者となり、当初予定の13,000人を超えました。また、開催地の石川県や珠洲市の小学生が、日帰りでの体験参加を予定しています。

参加予定の外国連盟

オーストラリア、台湾、香港、インド、インドネシア、韓国、マカオ、マレーシア、ネパール、フィリピン、イギリス、アメリカ

参加区分	参加隊			大会運営 スタッフ	派遣団本部 スタッフ	人数計	備考
	スカウト	指導者	計				
ボーイスカウト	9,129人	1,901人	11,030人	1,526人	164人	12,717人	
ガールスカウト	30人	8人	38人	3人	0人	41人	5県連盟
外国参加者	456人	78人	534人	45人	19人	598人	12の国と地域
計	9,615人	1,987人	11,602人	1,574人	183人	13,356人	



参加確定申し込み人数

外国スカウトは、派遣団または派遣隊のグループごとで各サブキャンプへ配属し、サブキャンプでは日本参加者40人（1区画）に対し外国スカウト2~3人ずつ受け入れ、共に生活し、プログラムに参加します。申し込みのあった12の国と地域の外国参加者を次のとおり配属する予定です。

サブキャンプ	外国参加者数	内訳
アドベンチャー	261人	インド44人、インドネシア75人、香港70人、マレーシア22人、ネパール40人、アメリカ10人
ブレバリー	24人	イギリス24人
チャレンジ	108人	オーストラリア14人、台湾24人、韓国51人、アメリカ19人
ディスカバリー	91人	フィリピン52人、イギリス39人
エンデバー	26人	アメリカ26人
フューチャー	25人	台湾20人、マカオ5人

※人数は6月14日現在。人数により配置が変更になることがあります。

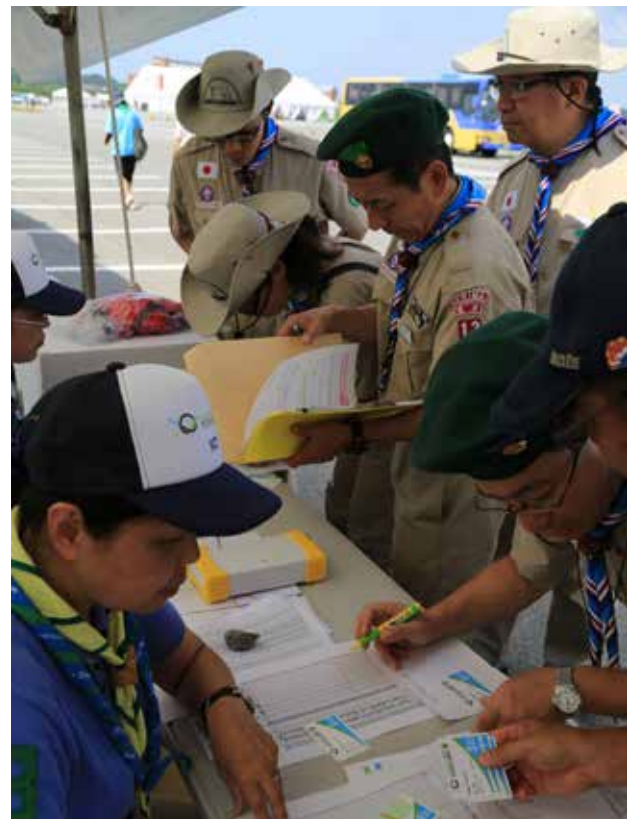
会場での受付、到着・出発の流れ

参加確定申し込み人数に基づいた県連盟派遣団の輸送に関する第2次調査を実施しています（7月2日回答締め切り）。

入退場日時

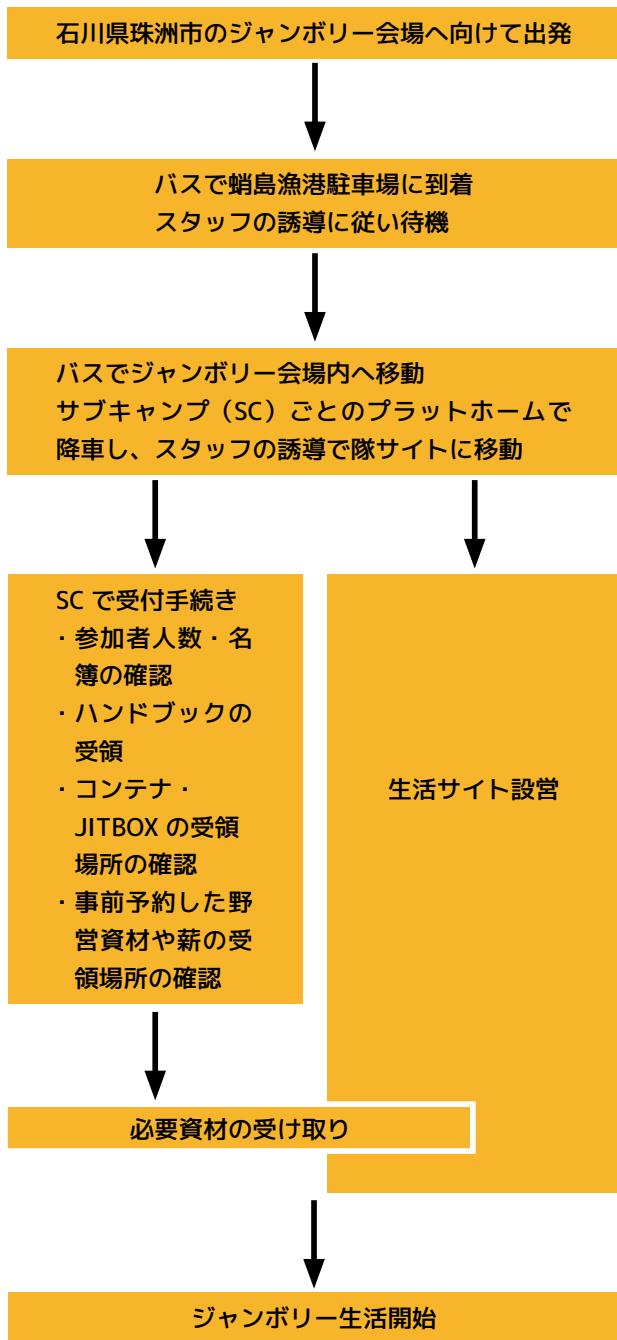
基本実施要領等で定められた次の日程により、入退場してください。8月2日(木)に入場する大会運営スタッフは、昼食を済ませて入場するか持参してください。また、やむを得ず遅参する大会運営スタッフについても、入場した日の夕食から給食となりますので、入場日の昼食は各自で手配してください。

入場	大会運営スタッフ	8月2日(木) 昼~17:00までに入場
	参加隊 (スカウト・指導者)	8月4日(土) 7:00~17:00
退場	参加隊 (スカウト・指導者)	8月10日(金) 7:00~17:00
	大会運営スタッフ	8月11日(土) 朝~夕刻までに退場

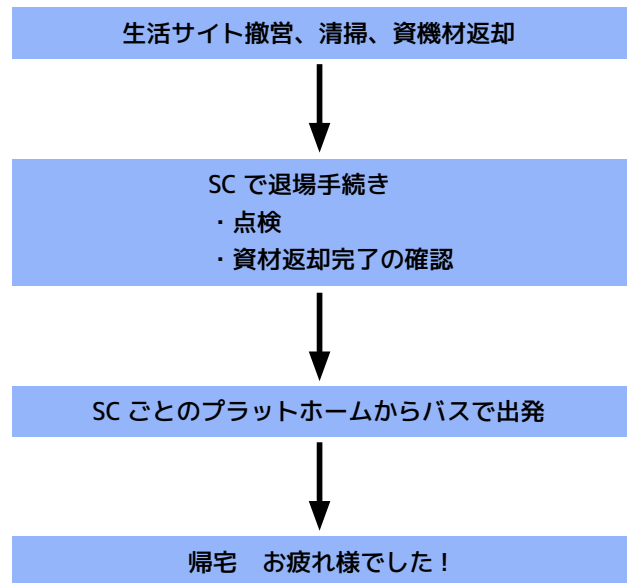


参加隊の入場から受け付け、退場の流れ

1. 入場 8月4日(土)



2. 退場 8月10日(金)



資器材の輸送

各県連盟派遣団の資器材の輸送については、参加隊の集散時の混雑を避ける目的で、参加隊入場前に搬入し、参加隊退場後に搬出するため、次の日程と要領より計画しています。バスにより資器材を輸送する場合は、会場への入場時間の調整をお願いすることがあります。

①コンテナによる資器材輸送

- ・使用するコンテナは運搬作業の効率、設置場所の有効利用のため JR コンテナ 5 トンタイプに限定し、参加隊 3～5 区隊で 1 基を標準としてください。
- ・JR5 トンコンテナの借用や運搬費用等については、各県連盟ごとに日本通運株式会社の最寄り支店と打ち合わせのうえご契約ください。
- ・コンテナは、7月23日（月）から27日（金）の間に JR 金沢駅に到着するよう、最寄りの日本通運支店とご調整ください。
- ・コンテナは、8月1日（水）までに会場内に搬入し、大会運営スタッフの入場する2日（木）より利用を開始します。また、大会運営スタッフの退場する8月11日（土）で利用を終了し、12日（日）より会場から搬出し、全国への返送を行います。

②トラックによる資器材輸送

- ・トラックで資器材を輸送する場合には、次の日程により各サブキャンプ最寄りのコンテナ置き場で搬入・搬出作業をお願いします。集積された資器材は、参加隊が入場後に各キャンプサイトへ運搬し、退場前に集積します。参加隊がいない期間の保守、トラックの荷卸・積込は県連盟派遣団をお願いします。
- ・搬入・搬出前は、蛸島漁港の駐車場で待機してください。
- ・搬入は、8月2日（木）から3日（金）までに完了してください。
- ・搬入後のトラックを留め置く場合には、蛸島漁港の留め置き駐車場をご利用ください。
- ・搬出は、8月10日（金）の参加隊バスが完全に退出した後、夕刻頃から作業を始めます。

③その他

- ・地元の運搬能力に限りがあること、混乱をきたすことから、宅急便等の受取代行は、大会としては行いません。また、一切の責任も負いかねますのでご承知おきください。

会場内での自転車の利用

業務上必要な大会運営スタッフ、派遣団本部スタッフ、大会協力者は自転車を利用することができます。

会場内では交通ルールに従い、車道を通行し、ヘルメットを着用します。サブキャンプ内（参加者・成人）では、サブキャンプ広場まで自転車で乗り入れ、キャンプサイト内へは自転車を押して移動してください。

自転車1台につき、利用者名、所属、役務、参加区分、業務内容等による事前登録が必要です。今後ご案内する書式にて、派遣団本部、サブキャンプは当該サブキャンプ、大会本部各部と協力者は各部で取りまとめのうえ、申請をお願いします。なお、自転車は利用者が手配してください。

申請に基づき、会場で輸送部より、ヘルメットの持参を確認して、「通行許可証」を発給します。





支給品（ワッペン・IDカード）、ガイドブック類の紹介

IDカード・ネックストラップ

17NSJでは、参加者や来訪者、大会協力者をIDカードとネックストラップで識別します。期間中は、安全のために外すことを求められた場合を除いて、常時着用し

てください。また、IDカードを着用していない人を見かけた場合には、サブキャンプ本部や安全・救護部に報告してください。

IDカード（A6版）

※サブキャンプ本部スタッフ、県連盟派遣団本部スタッフは配属されたサブキャンプのIDとなります。



アドベンチャー

ブレバリー

チャレンジ

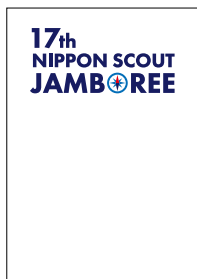
ディスカバリー

エンデバー

フューチャー



大会運営スタッフ



来訪者



協力者

ネックストラップ

スカウト

17th NIPPON SCOUT JAMB+REE

17th NIPPON SCOUT

指導者

17th NIPPON SCOUT JAMB+REE

17th NIPPON SCOUT

大会運営スタッフ
県連盟派遣団本部スタッフ

17th NIPPON SCOUT JAMB+REE

17th NIPPON SCOUT

来訪者・協力者

17th NIPPON SCOUT JAMB+REE

17th NIPPON SCOUT

参加章（ワッペン）・ハンドブック

参加章のワッペンは、1人2枚を支給します。IDカードとともに県連盟を通じて事前に支給しますので、制服の右ポケットに着用して参加してください。また、17NSJは国内で開催する国際行事ですので、旧制服で参加する場合には、右胸の世界スカウト記事の上に派遣員章（日の丸）を着用して参加してください。

参加者（スカウト・指導者）に向けた大会情報をまとめたハンドブック（A6判）を、事前に大会ホームページに公開のうえ、会場の受付時に渡します。活動の記録やアワードの細目認証の欄がありますので、参加スカウトには、期間中を通じて携行させ、プログラムや信仰奨励活動に参加した際にサインをもらうように指導してください。



参加章

モジュールプログラムへの参加

各サブキャンプの参加隊は、県連盟ごとに5つのグループに分け、割り当てられた5つのモジュールプログラムに半日単位で参加します。プログラムは班単位での参加で、最少5人、最多8人とし、4人を下回る場合はその場で臨時的混成班を編成します。

参加隊から1人以上の指導者が同行し、プログラム展開時の安全管理にご協力ください。

プログラムテーマ

テーマ①：チームワーク

進級課目と関連させた班対抗競技により、個のスキルだけでなく、班のチームワークを高める。

例：班旗立て、火起こし、ハイキング、丸太切りなど

テーマ②：カルチャー

自然や科学、伝統、文化などの体験をとおして将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげる。

例：各種ミニスポーツ、企業・団体提供プログラム、エキスカッションなど

テーマ③：サバイバル

会場の広さを活用したものや参加人数の多さなど、大会の規模を活かしてスキルアップを図る。

例：大型構造物、ローマ戦車、通信や計測など

テーマ④：マリン

大会会場の特徴である砂浜や海、漁港といった「海」に特化した体験を行なう。

例：ライフセービング競技、ロープを活用した海難救助、シーカヤック体験など

モジュールエリア

サターンエリア



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

「ジャンボリーゲーム日本一」の種目を中心に、日々のスカウトスキルを活かしてプログラムに取り組みます。2020年の東京オリンピック開催を見据えたミニスポーツもエリア内で体験できます。

実施場所 / 多目的広場、野球場

参加方法 / 現地受付順

参加単位 / 班

見学・体験の可否 / 見学可能、一部体験可能

ジュピターエリア



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

班対抗で競い合う種目を中心に、班の協力・連携を活かしてプログラムに取り組みます。地形を活かしたプログラムを用意しており、普段体験できないようなスケールのプログラムを体験できます。

実施場所 / 文藝館西、ジャンボリープラザ近く

参加方法 / 現地受付順

参加単位 / 班

見学・体験の可否 / 見学可能、一部体験可能

アースエリア



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

「ジャンボリーゲーム日本一」の種目を含め、班の協力・連携を活かしてプログラムに取り組みます。苦手ととらえられやすいスカウトスキルでも、協力することで楽しく競い合えることを体験できます。

実施場所 / テニスコート、グラウンドゴルフ場

参加方法 / 現地受付順

参加単位 / 班

見学・体験の可否 / 見学可能、一部体験可能

ヴェーナスエリア



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

ジャンボリーの目的に賛同する企業や団体が提供するプログラムを中心に取り組みます。スカウトの興味や関心ごと、自分自身の将来を考えるきっかけになるさまざまなプログラムを体験できます。

実施場所 / わくわく夢らんど

参加方法 / 現地受付順

参加単位 / 班

見学・体験の可否 / 見学可能、体験可能

マーキュリーエリア



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

会場の立地を活かした海と砂浜で展開するプログラムに取り組みます。ただ海で遊ぶだけでなく、スカウトスキルの活用や安全対策の重要性など、学びの要素を含めたプログラムを体験できます。

実施場所 / 鉢ヶ崎海水浴場

参加方法 / 現地受付順

参加単位 / 班

見学・体験の可否 / 見学可能、一部体験可能

モジュールプログラム割り当て

	ADVENTURE 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	BRAVERY 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	CHALLENGE 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	DISCOVERY 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	ENDEAVOR 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	FUTURE 17ANNIPPON SCOUT JAMBOREE	8月6日(月)		8月8日(水)		8月9日(木)
							午前	午後	午前	午後	午前
群馬、東京			長野	滋賀、奈良	山口、徳島、香川、高知	熊本	SATURN AREA	JUPITER AREA	MERCURY AREA	EARTH AREA	VENUS AREA
	福島		新潟、岐阜、愛知		鳥取、広島、愛媛	福岡	JUPITER AREA	MERCURY AREA	EARTH AREA	VENUS AREA	SATURN AREA
茨城	山形		富山、福井、静岡	大阪	岡山		MERCURY AREA	EARTH AREA	VENUS AREA	SATURN AREA	JUPITER AREA
栃木、千葉、神奈川	北海道、岩手、秋田		石川	和歌山		佐賀、鹿児島	EARTH AREA	VENUS AREA	SATURN AREA	JUPITER AREA	MERCURY AREA
埼玉、山梨	青森、宮城		三重、ガールスカウト	京都、兵庫	島根	長崎、大分、宮崎、沖縄	VENUS AREA	SATURN AREA	JUPITER AREA	MERCURY AREA	EARTH AREA

ジャンボリーゲーム日本一配置モジュール（サターンエリア：結索・キャンピング、アースエリア：信号・コンパス）

エキスカージョンプログラムへの参加

バスを利用して会場から離れて、能登の自然や文化・技術などを学ぶ場外の有料プログラムで、希望者を対象とした事前申し込み制で8月6日と8日のみ実施します。

実施する場所に依りて、半日や1日を費やすものがあり、また参加に必要な準備も異なるため、プログラムごとに確認のうえ、参加してください。



プログラムテーマ

- チームワーク
- カルチャー
- サバイバル
- マリン

エリア概要

開催地である能登半島の里山里海の魅力を知り、歴史や文化、生活習慣について学び、ジャンボリーをより楽しむことができます。その他、海上自衛艦乗船やマリンスポーツ体験も予定しています。

実施場所 / プログラムごとに異なる

参加方法 / 事前申し込み（当日不可）

参加単位 / 班または隊 ※要指導者

見学・体験の可否 / 見学・体験不可



ジャンボリーゲーム日本一

18NSJ、19NSJ に継続していくプログラムとして、「ジャンボリーゲーム日本一」を実施します。ジャンボリーゲーム日本一では、スカウトスキルを用いた次の4種類の班対抗ゲームを行い、日本一を決めます。成績優秀班を称え、閉会式前に表彰式を行い、特別な記章「ジャンボリーゲーム日本一章」を授与します。

※チケット制を導入し、時間調整や円滑な進行を行う予定です。

実施場所

結索とキャンピング：サターンエリア

通信とコンパス：アースエリア



通信（手旗信号リレー）

手旗信号の受信と送信を駆使した班対抗のタイムトライアル伝言ゲーム

- ①班の代表は出題者から課題を受け取り、指定された「内容」を確認する。
- ②代表は指定された内容を、手旗信号で次の班員へ送信する。
- ③最後の班員が回答を受け取り次第、指定された「内容」を出題者に伝える。
- ④制限時間 15 分以内で時間を競う。一文字間違えるごとに時間が加算される。



結索（班旗立て）

与えられた資材で自分たちの班旗をできるだけ高く掲げ、かつ自立させるゲーム

- ①直径 5~10cm、長さ 1.8~2m の竹や木材が混ぜておいてあり、自由に資材を確保する。
- ②大会が用意する班旗棒に班旗と計測用のタコ糸を取りつける。
- ③スタートの合図で、5~6cm のクレモナロープを用いて、適した結びを使って資材を結ぶ。
- ④制限時間 20 分以内に高くかつ自立するように結索を行う。
- ⑤タコ糸が地面に接したところに印をつける。
- ⑥ 15 秒自立後、安全のために班旗を下ろし、タコ糸の先端から印までを計測し高さを競う。



キャンピング（火起こし）

与えられた資材と条件の中で、素早く火を起こし、炎で竹ひごを焼き切るゲーム

- ①スタートの合図で薪組みと火起こしを開始。火をつけるスカウトは 1 人ずつとする。
- ②薪組みは高さ 30cm まで。その上約 10cm の高さに渡した竹ひごを焼き切る。
- ③支給するマッチは 2 本とし、1 本追加することに 30 秒を加算する。
- ④制限時間は 20 分。スタートの合図から、竹ひごを焼き切るまでの時間を競う。



コンパス（コンパスナビゲーション）

指示書に記された方位角に従い、ポイント（コーン）に進み、カードに書かれた文字を記録するゲーム

- ①スタートの合図で指示書に記された方位角に従い、ポイントに進み、文字を記録する。
- ②その動作を指示書の枚数分繰り返す、文字を記録する。
- ③記録した文字の正確性と所要時間で算出し、班員の合計得点を競う。

共通ルール

- ・各プログラムとも参加は 1 回限りです。個人での参加ではなく班としてエントリーします。
- ・BS 班と VS 班に分け、それぞれ 5 人班、6 人班、7 人班、8 人班の 4 つの区分で参加します。5 人に満たない班は、他の班と合同して上記の人数班になるようにします。
- ・5 人班、6 人班、7 人班、8 人班のそれぞれ 1 位、2 位、3 位までを表彰します。
- ・班に一人でもベンチャースカウトがいる場合は、VS 班としてエントリーします。

ジャンボリー・アワード

ジャンボリー・アワードは、ジャンボリープログラムをより積極的に参加するように設定された課目を大会期間中に達成し、承認のサインをもらいましょう。

すべて承認のサインをもらったスカウトは隊長に修了認定のサインをもらいましょう。修了認定されたスカウトには、ジャンボリー・アワードを授与します。

課目 1 | ジャンボリーの生活の中で「ちかい」と「おきて」を実践する。

課目 2 | ジャンボリー期間中、1日1回は善行に取り組む。

課目 3 | 野営生活を快適にするために、班で話し合い、日々の改善に取り組む。

課目 4 | 班の仲間のために、自分の役割を果たす。

課目 5 | 各教宗派が提供するプログラム（宗教儀礼・パビリオン）に参加する。

課目 6 | 班や隊で行うスカウトズ・サービスに参加する。

課目 7 | 各テーマのプログラムに2つ以上参加する。
(参加プログラム名)

- チームワーク ()
- チームワーク ()
- カルチャー ()
- カルチャー ()
- サバイバル ()
- サバイバル ()
- マリン ()
- マリン ()

課目 8 | ジャンボリーゲーム日本一プログラムに1つ以上挑戦する。

- 通 信
- 結 索
- キャンピング
- コンパス

課目 9 | 友情（ワイド）ゲームに参加、課題に取り組む。

課目 10 | 他の隊や班と交歓する。

※課目 1.2 は隊長、3-10 は班長または上級班長がサインする。

全体行事

参加者が一堂に会し、開会式は「出発」、アリーナショーは「ミライの子カラ」、閉会式は「新たな扉」をテーマに実施します。

開会式～出発～

8月5日（日）19:00～20:30（ゲートオープン：18:00）

大集会～ミライの子カラ～

8月7日（火）19:00～21:00（ゲートオープン：18:00）

閉会式～新たな扉～

8月9日（木）19:00～20:30（ゲートオープン：18:00）

※全体行事へは、正装（ユニフォーム、ハットまたはベレー）でご参加ください。

※サブキャンプごとに指定されたゲートから入場していただきます。

「大会ソング」ダンス動画募集中！

参加者がともに大会ソングに合わせて踊ることで、参加者同士のより一層の一体感や高揚感を生み出し、大会実施に向けてのムード醸成にも貢献することを目指し、「大会ソング」ダンス動画を募集しています。

有志のローバースカウトが、大会公式ソングの歌詞・曲調に合わせた、簡単に真似できる振り付けを考えました。大会ホームページ「ジャンボリーメディア」に掲載されている2分30秒程度の「見本動画」をご覧ください。参加者予定者の皆さまもダンスを踊ってYouTubeにアップロードしてください。アップしていただく際は、「#17NSJ 踊ってみた」を動画の説明本文に記載してください。全国から集まった動画を編集して式典の中で上映する予定です。

※詳細は、大会ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/cpt.html>



信仰奨励、各宗教派の集い

参加したスカウト・指導者の一人ひとりが、更に明確な信仰を持つよう、また信仰心高揚が契機となり、精神的に充足して大会を楽しむことができるよう、信仰奨励のためのプログラムを実施します。

信仰奨励エリアでは、参加スカウトの信じる教宗派の活動に加え、普段あまり接することのない他の教宗派について知ることができます。また、8月7日は信仰奨励の日として、午前中に教宗派を超えた集いと、各教宗派にわかれて集いや宗教儀礼を行います。

信仰奨励エリア・各教宗派パビリオン

信仰奨励エリアでは、信仰奨励章や宗教章の紹介や、スカウトタウン・サービスを励行します。



各教宗派のパビリオンでは、信仰する教宗派の礼拝を行ったり、他の教宗派を知って、自らの信仰との共通点や差異を発見する機会になります。また、普段の生活から信仰活動に興味を持ちやすくするため、各宗教の協議会による体験コーナーにて、勾玉作り、念珠作り、ロザリオ作りなどを体験できます。

パビリオン設置教宗派（予定）

神道：神社本庁

仏教：天台宗、浄土真宗本願寺派、高野山真言宗、浄土宗、真宗大谷派、立正佼成会、曹洞宗、孝道教団、日蓮宗

キリスト教：日本カトリック教会、末日聖徒イエス・キリスト教会

金光教、世界救世教、天理教

教宗派を超えた集い

明確な信仰を持たないスカウトを含め、各教宗派の集いへの導入となるよう、「平和」をテーマとし、ちかいたおきての実践を通じて信仰心を持つ大切さを伝えるための集いとなります。

日時：8月7日（火）9:00~10:00

服装：活動に適した服装

場所：アリーナ

各教宗派の集い・宗教儀礼

各教宗派による集いや宗教儀礼を行います。

日時：8月7日（火）10:30~11:30

場所：右記

服装：活動に適した服装

教宗派の集い実施場所（予定）

教宗派	場 所
神道	野球場
天台宗	グラウンドゴルフ場
浄土真宗本願寺派	テニスコート
高野山真言宗	グラウンドゴルフ場
浄土宗	テニスコート
真宗 大谷派	グラウンドゴルフ場
立正佼成会	信仰奨励エリア
曹洞宗	グラウンドゴルフ場
孝道教団	信仰奨励エリア
日蓮宗	グラウンドゴルフ場
本門佛立宗	グラウンドゴルフ場
日本聖公会	多目的グラウンド
日本カトリック教会（ミサ）	多目的グラウンド
末日聖徒イエス・キリスト教会	多目的グラウンド
日本基督教団（プロテスタント）	多目的グラウンド
金光教（祭事と教話）	エンデバーサブキャンプ広場
世界救世教	信仰奨励エリア
天理教	信仰奨励エリア

信仰奨励章

スカウトが、信仰奨励エリアでの体験や各教宗派への集いへ参加することで信仰奨励章の取得要件の一部を認定できます。教宗派パビリオンの訪問や教宗派への集いに参加したらガイドブックのサイン欄に教導職等によるサインか参加の証明をもらい、自団の隊長に認定して（スカウト進級手帳にサイン）もらいましょう。

信仰奨励章取得要件

7. 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトタウン・サービスに参加する。
8. 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。



サブキャンプと担当ブロック、各県の配属

参加者は、6か所のサブキャンプに分かれて生活します。各サブキャンプはブロックの参加人数に応じた区画数に区分し、ブロック内の県連盟が主体となって運営します。

アドベンチャー



担当ブロック：関東
 区画数：115区画
 参加隊人数：約4,130人
 県連盟：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、東京

ブレバリー



担当ブロック：北海道・東北
 区画数：13区画
 参加隊人数：約440人
 県連盟：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

チャレンジ



担当ブロック：中部
 区画数：75区画
 参加隊人数：約2,800人
 県連盟：新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、ガールスカウト

ディスカバリー



担当ブロック：近畿
 区画数：62区画
 参加隊人数：約2,400人
 県連盟：滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、大阪

エンデバー



担当ブロック：中国・四国
 区画数：18区画
 参加隊人数：約680人
 県連盟：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

フューチャー



担当ブロック：九州・沖縄
 区画数：17区画
 参加隊人数：約620人
 県連盟：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※区画数は6月8日現在。

※参加隊人数は外国参加者を除く。

ごみの分別・収集

大会期間中に出るごみは、各隊サイトで珠洲市の分別に従い分別し、各サブキャンプに設置された集積場に集めます。午前中に収集を行いますので、その日の収集内容に沿って朝に集積してください。各参加隊では、確実な分別と少量化をはかりましょう。また、プログラムサイトなどには集積場がありませんので、活動中に出たごみは各参加隊のキャンプ地に持ち帰り、分別しましょう。乾電池類の有害ごみは持ち帰り、帰宅後に各自自治体のルールに従って処分してください。

①燃やすごみ

- ・生ごみ、貝殻、紙くず、木くず、プラスチック製品、ペットボトルのふたなど

②布製品・ひも類

- ・タオルや軍手などの衣類、靴、かばん、ロープ・ひも類

③資源ごみ（リサイクル）

- ・ペットボトル キャップを外して出す、リサイクルマークのあるボトルだけを回収します
- ・空き缶 スチール缶、アルミ缶等 リサイクル表示のないものは燃やさないごみへ
- ・空きびん 無色透明、茶色、その他の色の3色に分ける
 ※ペットボトル・空きかん・空きびんは、食べ残しなどは取り除いてください。
 ※汚れのひどい空きかん・空きびんは「埋立ごみ」に出します。
- ・新聞紙 ひもで十字に縛って出す
- ・ダンボール ひも十字に縛って出す
- ・紙パック 中を水洗いし、開いてひもで十字に縛って出す
- ・燃やさないごみ 釘・針金などの金属類、傘
- ・埋立ごみ 使いきった燃料缶やスプレー缶、異物の入った缶・びん、汚れのひどいびん、アルミホイル、炭や灰、割れた陶器類やガラスなど危ないものは、新聞紙で包み「ガラス」等と表示

食事に関する対応（食材とアレルギー）

クックブック（食材、調理情報）

期間中の参加者の献立は、ジャンボリーインフォメーション2号で献立を紹介しましたが、この度、クックブックをホームページで公開します。クックブックには、メニューに加え、食材およびアレルギーの表記、各献立の調理方法を紹介します。献立中の昼食については、すべて「携行食」となり、「おにぎり」なども調理済の加工食品を朝の配給時に配ります。

食物アレルギーへの対応

食物アレルギーとは、特定の食べ物に含まれる「アレルゲン（アレルギーの原因となる物質）」に「免疫」機能が過剰に反応してしまい、体にさまざまな症状をおこすものです。症状はさまざまですが、中には死に至る場合もあることから食品に含まれるアレルギー物質に関して、正確な情報が必要となります。

キャンプ生活では、集団で生活を行うことから、アレルギーのある人だけでなく、一緒に生活をする仲間もアレルギーについて理解し、行動することが大切です。

食品のアレルギーについては、日本の「食品衛生法」で表示が義務付けられているアレルゲン特定原材料（アレルギーの原因となる可能性がある食材）の以下の7品目を記載しています。

7 大アレルゲン特定材料

小麦 卵 乳 エビ カニ そば 落花生

また表示が推奨されているその他のアレルゲン原材料である以下の20品目については、献立食材決定時点の食材に表示されているものを記載してありますが、最終配給食材が変更になる場合もありますので、配給された食材の包装パックの内容表示での確認も徹底してください。

その他のアレルゲン原材料

いくら、キウイフルーツ、くるみ、大豆、カシューナッツ、バナナ、やまいも、もも、りんご、さば、ごま、さけ、いか、鶏肉、ゼラチン、豚肉、オレンジ、牛肉、あわび、まつたけ

各参加者には、参加申し込みの際に確認したアレルギーの有無の内容を参考に、配給食材の置き換え等の準備をしています。改めてサブキャンプの配給担当者から参加隊を通じてアレルギーの有無など、期間中も問い合わせなどを行っていく予定です。

その他の配慮を要する対応

大会には、海外からの参加者もあり、宗教上の利用などから食事に配慮を要することがあります。大会本部では、このような配慮を必要とする海外からの参加者についておおよそ把握しており、配給時にはそれぞれに対応した食材（ハラル食材やベジタリアン食材など）を用意しています。通常の配給とは分けて配給を行います。食材などに混在があった場合などは申告にご協力ください。

大会運営スタッフへの対応

大会運営スタッフ（県連盟派遣団本部員、サブキャンプ本部員、大会本部員、各種インストラクター他）についても食事に配慮を要する方のために対応食を準備してあります。大会本部食堂、各サブキャンプ食堂で対応できるようにしていますが、対応を要する場合は、それぞれの食堂担当者に申し出てください。

食中毒への対応

暑い時期で食品の腐敗などの恐れもあることから、食料の取り扱い、衛生面には注意を払ってください。特に残った食材については、次の食事に持ち越すことのないように適切に処分をしてください。食事の際は、手の洗浄やアルコール消毒なども実施してください。

氷の販売と引渡しについて

参加隊、県連本部、サブキャンプ本部には、「氷」の販売を斡旋しました。この氷は、氷業者により、昼の配給時間帯に合わせて各サブキャンプにお届けします。氷は、各サブキャンプ申込分を一括して、サブキャンプ本部の配給担当者一括して引き渡し、その後、県連盟派遣団本部を通じて、各参加隊に引き渡します。氷の引き渡しについては、クーラーボックス等の保冷容器をご用意ください。

配給食材（参加隊用）

		配給食材	アレルギー
1日目 8月4日(土)	夜	中華丼の素(あん)	卵・大豆・小麦、ごま・鶏肉・豚肉
		インスタント玉ねぎスープ	鶏肉
		生鮮 オレンジ	オレンジ
2日目 8月5日(日)	朝	生鮮じゃがいも	-
		生鮮玉ねぎ	-
		鶏卵	卵
		ロースハムスライス	卵、乳、大豆、豚肉
		生鮮ミニトマト	-
		ヤクルト	乳
		グリコビスコ	乳、小麦、大豆
	昼	梅干 種有り	-
		おにぎり 2個 梅、昆布	小麦、ゴマ、大豆
		魚肉ソーセージ	小麦、カニ、サケ、大豆
		味付き大豆	大豆
		十六茶	大豆
		牛肩ローススライス	牛肉
		生鮮白ネギ	-
		生鮮玉ねぎ	-
夜	オハラしらたき	-	
	豆腐 木綿	大豆	
	すきやきタレ	大豆、小麦	
	水煮ごぼう ささがき	-	
	生鮮きゅうり	-	
	ポテトサラダ	卵	
	果物ゼリー	モモ、リンゴ	
	うす揚げ	大豆	
3日目 8月6日(月)	朝	生鮮 えのきだけ	-
		乾燥わかめ	-
		生鮮白ネギ	-
		ちくわ	大豆、小麦
		生鮮 オレンジ	オレンジ
		骨無しサバ切身	サバ
		生鮮きゅうり	-
	昼	生鮮 にんじん	-
		ヤクルト	乳
		マヨネーズ	卵、大豆
		ふんわりチーズマヨパン	玉子、乳、小麦、大豆、リンゴ
		デンニッシュミルクパン	小麦、卵、乳、大豆
		白ぶどう & ホウレン草ジュース	-
		パイナップルゼリー	-
		シーフード MIX	エビ、イカ
夜	冷凍 3色ピーマン	-	
	生鮮しいたけ	-	
	生鮮玉ねぎ	-	
	パエリアの素	鶏肉、エビ、大豆	
	モーニングステーキ	卵、乳、小麦、牛肉、大豆、豚肉	
	コーンスープ ストレート	乳、大豆、小麦、牛肉、鶏肉、豚肉、ゼラチン	
	やさしい酢	小麦、リンゴ	
	生鮮キャベツ	-	
	生鮮きゅうり	-	
	生鮮トマト	-	
4日目 8月7日(火)	朝	豆腐 絹ごし	大豆
		生鮮白ネギ	-
		のり	-
		ししゃも	-
		生鮮きゅうり	-
		乾燥わかめ	-
		ちくわ	大豆・小麦
		ヤクルト	乳
		えいようかん	-
		梅ふりかけ	ごま・小麦・大豆

		配給食材	アレルギー
4日目 8月7日(火)	昼	おにぎり 2個 梅、しそ	大豆
		味付け小魚	小麦、大豆、ゴマ
		チーズかまぼこ	小麦、乳、卵
		お茶	-
	夜	金沢カレーソース	小麦、乳、大豆、豚肉、リンゴ、ゼラチン
		フランクフルト	豚肉、大豆、牛肉
		生鮮じゃがいも	-
		生鮮ナス	-
		マンゴーゼリー	-
		生鮮キャベツ	-
5日目 8月8日(水)	朝	生鮮トマト	-
		生鮮じゃがいも	-
		生鮮小松菜	-
		うす揚げ	大豆
		鶏卵	卵
		ロースハムスライス	卵、乳、大豆、豚肉
		シーチキン フレーク	大豆
		ヤクルト	乳
	昼	森永 おととと	乳、小麦、大豆、鶏肉
		梅干 種有り	-
		ふんわりチーズマヨパン	玉子、乳、小麦、大豆、リンゴ
		黒糖クロワッサン	小麦、乳、卵、大豆
		生鮮バナナ	バナナ
		アップル&キャロットジュース	リンゴ
		冷凍 白身魚	-
夜	生鮮キャベツ	-	
	生鮮しいたけ	-	
	生鮮玉ねぎ	-	
	生鮮レモン	-	
	味噌汁の麺	小麦	
	めんつゆ	小麦、大豆	
	生鮮ナス	-	
6日目 8月9日(木)	朝	玉子麩	小麦
		乾燥わかめ	-
		徳用ウインナー	卵、乳、小麦、大豆、豚肉、牛肉、鶏肉、ゼラチン
		水煮ごぼう ささがき	-
		生鮮 にんじん	-
		生鮮レタス	-
	昼	青じそドレッシング	小麦、大豆、サバ
		ヤクルト	乳
		ライスクッキー	-
		海藻サラダ	-
夜	おにぎり 2個 沢庵 梅、おかか	大豆、小麦、サバ	
	アーモンドフィッシュ	小麦、大豆、ゴマ	
	笹かまぼこ	小麦、卵	
	十六茶	大豆	
	とりやさい味噌	大豆、鶏肉、ゼラチン	
	鶏モモカット	鶏肉	
	白身魚揚げ	小麦、卵、大豆	
	マロニー	-	
7日目 8月10日(金)	朝	白桃ゼリー	モモ
		生鮮キャベツ	-
		生鮮白ネギ	-
		生鮮 にんじん	-
		デンニッシュバターパン	乳、卵、小麦、大豆
	副食材	魚肉ソーセージ	小麦、カニ、サケ、大豆
		カロリーメイト チョコ	小麦、卵、乳、大豆
		ヤクルト	乳
		オレンジジュース	オレンジ
		味噌	大豆
だしの素	小麦、乳		
サラダ油パウチ	大豆		

サブキャンプ



ブロックごとに6つのサブキャンプに分かれて生活します。1区画あたり40人を標準に約625m²から約750m²のキャンプサイトを提供します。隣のサイトと適切な間隔を空けてテントを設営してください。各隊のキャンプサイトには電気は供給しません。

トイレやシャワー等のサブキャンプ設備については、インフォメーション第1号を参照してください。

成人生活エリア

今大会では、成人は各サブキャンプに分散して生活しますが、一部の成人はこのエリアで生活します（地図上、左記色のエリア）。

プログラム



アリーナ

開閉会式や教宗派を超えた集い、ジャンボリー大集会を実施します。



プログラムエリア

場内プログラムの5つのモジュールごとに活動場所を設置します。

- ・サターン：多目的広場、珠洲市野球場
- ・アース：テニスコート、グラウンドゴルフ場
- ・マーキュリー：鉢ヶ崎海水浴場
- ・ジュピター：文藝館西、ジャンボリープラザ近く
- ・ヴィーナス：わくわく夢らんど



エクスカーションプログラム

エクスカーションプログラムのバス発着場です。



ジャンボリースカウトセンター

わくわく夢らんどに設置するジャンボリースカウトセンターには、参加者や見学者が訪れ、各国連盟や都道府県連盟によるスカウト活動の紹介・展示により、スカウト活動の変容や多様性について見ることができます。



信仰奨励エリア

わくわく夢らんどに信仰と信条の実施場所として、各教宗派による展示や祈りの場を設けます。

大会本部・サービス



大会本部

会場中央に各部が集まる大会本部と本部会議所を設置します。業務内容によっては一部の本部機能を分散して設置します。



メディアセンター

各種報道やスカウト通信員が利用します。



中央救護所

会場内で可能な限りの医療処置を行います。開設期間は8月3日～10日です。



アリーナ救護所

全体行事日のみ開設します。



ジャンボリープラザ

参加者や見学者に向けた記念品やお土産、サービス等を扱うジャンボリープラザを設置します。

- ・オフィシャルショップ：大会記念品やスカウト用品を扱います。
- ・飲食売店：デイビジターに向けた軽食などの販売を予定しています。
- ・物販売店：生活雑貨や飲料、お土産品などの販売を予定しています。
- ・サービス：臨時郵便局や参加隊の集合記念写真撮影などのサービスを予定しています。

※オフィシャルショップでは、環境省のレジ袋削減の取組に賛同し、レジ袋の用意がありません。買い物の際は、エコバッグなどを持参してください。



本部食堂

大会運営スタッフの食堂です。



見学者関連

見学者の受付や休憩所などの場所です。

生活施設



トイレ



シャワー



水汲み場





出発前までにすること

①参加スカウトの顔と名前を覚える

参加隊の健康管理と事故予防の第一歩として、参加スカウトの顔と名前を覚えることを徹底してください。また、所属団の指導者からスカウトの情報を得るとともに、保護者にスカウトの健康状態と治療の際の特別な要望（輸血の拒否など）の有無を確認し、必要時に救護所スタッフに伝えられるようにしておいてください。

スカウトの健康状態を把握するための健康調査書の様式を今後ホームページに掲載していきますので、スカウトや指導者に記入してもらい、各隊で管理してください。大会運営スタッフも、救護所の診察時に提出できるよう各自で準備してください。

場外の病院で診察を受けるには、保険証が必要となります。保険証のコピーを持参する場合には、必ず両面の写しをとりましょう。エクスカッションプログラムに参加する場合には、忘れず携帯するようにしてください。

②健康安全に関する担当指導者を決める

各隊で健康と安全に関する担当指導者を選任し、健康・安全について隊全体を見渡せる責任者を置くことを勧めます。この担当者は救急法（日赤・消防等）の一般講習修了者など疾病の対処法においても心得のある方が望ましいです。

長期野営では、ホームシック等のメンタル面の問題、また女性特有の問題への配慮が必要になります。指導者は各スカウトの体調のみならず精神面や人間関係にも配慮してください。

③予防接種（破傷風・麻疹）を済ませる

麻疹（はしか）と破傷風の予防注射を全員済ませているか、保護者を通じて母子手帳等で必ず確認させ（破傷風は通常10年有効）、未接種であれば受けるように勧めてください。予防接種に際しては、副作用がある場合もありますので必ず病院等で確認をしてください。

麻疹（はしか）について

麻疹（はしか）について、海外からの訪日客や帰国者の感染から、日本国内での患者数が2016年（平成28年）以降徐々に増え、今年も感染拡大の兆しが報告されています。

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻疹の予防接種が最も有効な予防法といえます。

《確認のしかた》

- ・麻疹:MR（麻疹、風疹）ワクチンがきちんと2回接種されているか
- ・破傷風:11歳から12歳時のDT（ジフテリア、破傷風）ワクチンが接種されているか

④会場に病気を持ち込まない

これまでの大会では、感染が分かっているが参加を強行した人によって持ち込まれた流行性角結膜炎が大流行したことがあります。参加1週間前からは毎日の検温や食欲、便通等健康状態の把握に努めるように参加者（スカウトの場合は本人と保護者）に促してください。その上で、出発時に体調不良がある場合は無理をさせず、参加を見合わせる・出発を延期するなどの配慮をお願いします。

⑤刃物の取り扱い

ナイフ、鉈、オノなどの刃物は、野営生活において大変重要な道具ですが、取り扱い方の間違いや不注意によるケガには十分注意しなければなりません。

特に、本大会では炊事用の燃料として薪を使用するので、鉈やオノを頻繁に利用することが考えられます。

刃物の種類に応じた正しい使い方を理解し、細心の注意を払って使用してください。

なお、刃物を利用する者については以下の要件を満たすものとします。

※刃物の取り扱いに関する進歩課目の履修を修了した者、および使用する刃物に関する訓練を修了した者であって、隊長の許可を受けた者。

⑥健康上特別な配慮が必要な場合

夏期の7日間におよぶ長期野営ですので、指導者・スカウトを問わず、健康上の問題のある方は参加の可否も含めて慎重な判断が望まれます。救護所では病院のような設備はなく、特殊な医薬品・機材は限られています。治療中の病気や特別な配慮が必要なものにつきましては、事前に主治医と相談されるようお願いいたします。

麻疹については、2007（平成19）年に日本国内で流行がみられ、そのため2008（平成20）年よりそれまでの1回接種から2回へ変更となり、5年間の経過措置として中学校1年生および高校3年生への接種が行われてきました。

1990（平成2）年4月2日以降に生まれた方は、定期接種として2回の麻疹含有ワクチンを受けることとなりますが、それ以前に生まれた方（29歳以上）は、1回のワクチン接種のみの可能性がありますので確認してください。

罹歴・接種歴が不明の場合は母子手帳で確認するか、医療機関にて抗体価を測定するなどの方法もあります。

参加中の健康管理

①健康状態の把握

疾病予防のための健康チェックは毎日行いましょう。各個人単位、班単位、隊単位の3つのレベルで行えば完璧です。

- ・個人単位では、参加者1人ひとりが、睡眠や食事、排泄、その他の体調、気力、楽しんでいるか等、毎日自己診断して記録するようにスカウトに指導してください。
- ・班単位では、班長あるいは班の健康担当が班員の健康状態の把握に努めるようにスカウトに指導してください。班員の健康チェック表を毎日作成し、食欲や顔色なども観察、記載するようにさせましょう。
- ・隊単位においては、隊の健康担当指導者は、個人・班単位のチェック表を見るだけでなく、五感をすべて動員して、各スカウトの顔色・表情・言動・エンジョイしているか等を観察しましょう。

②各種疾病予防対策

野外活動における3大傷病は「感染症」「熱中症」「外傷」で、これらの発症は活動時期、活動内容、活動の場の環境によって大きく左右されます。救護係や安全管理担当者はこのことをよく認識して予防策を講じ、また万が一の時には適切に対処する能力を身につけていなくてはなりません。

●熱中症・日射病

会期中の会場の気候は、晴天が続くと最高気温30℃(真夏日)を超えることがあります。また、樹木による日陰が少ないので、隊サイト内にフライやタープを張り日陰を確保しながら、宿泊するテント内の換気にも注意が必要です。活動時においては、次の事項に留意して、熱中症の予防と日焼けの防止に心がけてください。

水分補給は、スカウトに任せる「自由飲水」だけでなく、指導者が時間を決めて活動を休止し、定期的に全員一斉に補給させる「強制飲水」を併用してください。塩分も積極的にとりましょう。スポーツドリンクの塩分は意外と少なめです。経口補液療法(ORT)として、水1ℓに食塩小さじ1/2と砂糖小さじ3を混ぜてドリンクを作り飲む方法もあります。

予防には次のことを配慮してください。

1. 首筋や背中を直接日光にさらさないよう、作業帽と服装に注意する。
2. 炎天下での作業では、適時、日陰での小休止、水分、塩分の補給に配慮する。また、プログラム活動中には飲料水の携行を徹底する。
3. 基本日課に基づき、食事と睡眠を十分にとる。

●皮膚疾患

日焼け、靴擦れ、あせも、湿疹等の皮膚疾患は多く発生します。日焼けは“やけど”であり、予防が肝心です。日焼け止めを使用し、炎天下では肌の露出に注意してください。帽子はハットがベストです。キャップであればタオルで耳・項(うなじ)を保護させるよう徹底してください。水泡・痛み・発赤がひどい場合は救護所を受診してください。

●カ(蚊)対策について

会場では特に夕刻に蚊による虫刺されが多発すると予想されます。ひどく腫れて発熱するような場合は救護所を受診してください。



③外傷処置

傷口はきれいな水（水道水でよい）で十分に洗うことが大切です。消毒液を使う必要はありません。傷を洗うときはビニール手袋をして、砂やトゲなどの目に見える異物は爪楊枝などを使っていねいに取り除きましょう。

最近の創傷治癒の知見では、創部の消毒・乾燥は治癒をむしろ遅らせるといわれています。創部の保護は、ラップ等を当ててその上からガーゼやキッチンペーパー等、浸出液を吸収するものを置いてください。

浸出液吸収型の絆創膏（FC ワンタッチパッド® やバンドエイドキズパワーパッド® 等）を使うのも良い方法です。

④薬の投与について

内服薬、外用薬ともに指導者の判断での投薬は原則として行わないでください。参加者は各自、持病の治療薬、風邪薬、虫除け薬（ブヨにも効く成分の入ったもの）、虫刺され薬、生理用品等を持参し、自己判断で使用できるようにしておいてください。

⑤各隊での応急処置について

基本的な応急処置は各隊において行う必要があります。指導者は、ボーイスカウト救急法講習会で指導しているレベルまでは各自で行う心構えが大切です。スカウトの各進級課目の内容は実施できるように指導されていることが望ましいです。

⑥各隊で用意すべき救急用品（例）

安全管理担当指導者は各隊に1セット以上、救急箱を用意してください。セットの例を以下に挙げます。原則として薬品は各個人が自分に合ったものを用意し、救急箱に入れないでください。

- ・ 応急絆創膏（キズパワーパッドなど）/ 大小各種
- ・ ラップまたは創部用ドレッシングテープ
- ・ 滅菌ガーゼ / 大小各種
- ・ 包帯（伸縮性のものがベター） / 大小各種
- ・ 包帯止めまたは固定用テープ
- ・ テーピング用テープ
- ・ 三角巾 / 2枚以上
- ・ 綿棒
- ・ ペットボトル水 500ml / 1本以上（洗浄・飲用）
- ・ 体温計（水銀式体温計不可。必要なものは電池交換しておくこと）
- ・ ピンセット、毛抜き
- ・ 爪切り
- ・ ハサミ
- ・ ビニール袋
- ・ プラスティック手袋
- ・ 手指消毒用アルコール
- ・ 懐中電灯（ペンライト）および予備電池
- ・ 使用記録ノート・筆記具

⑦指導者の受傷予防・疾病管理について

野外活動では、指導者のけがも多く発生しています。過去数年間の事故データの分析によると、全事故件数の2割以上を指導者の事故が占め、その6割が運動器系のけが（骨折、捻挫、肉離れ、じん帯損傷など）となっています。また、長期間の野営となりますから、高血圧や糖尿病などの持病のある人は症状が悪化する可能性があります。体調を整えたくうえで参加し、会期中も自己管理を徹底するなど、指導者自身の健康安全管理についてもご注意ください。

⑧救護所での費用

4月発行のジャンボリーインフォメーション第2号で「救護体制・健康管理」についてお知らせしたとおり、会場にサブキャンプ救護所と中央救護所を設置し、会場内で可能な医療処置を行います。これら救護所での費用は大会経費で負担します。

場外の病院で処置が必要な場合、治療・薬代は自己負担になりますが、そなえよつねに共済の補償対象となります。

大会終了後に行うこと

①保護者や所属隊指導者への申し送り

参加期間中に発症した疾病について、大会終了後も経過観察が必要なことがあります。例えば、縫合処置後の抜糸、頭部打撲後の観察期間、感染が疑われる場合の潜伏期間中の観察などです。また、救護所や場外病院の医師より地元の医療機関宛に紹介状が書かれることがあります。これらの情報を誤りなく保護者等に申し伝えることを忘れないようにしましょう。

②アフターケア

帰宅後に体調を崩したり、メンタルな問題を引きずったりしていないかどうかを、本人・保護者・所属隊の指導者等を通じて情報収集しフォローアップしておくことが大会を安全に終了し、楽しい思い出にするための最後の仕事となります。



カウンセリング

カウンセリングの目的

長期間にわたるジャンボリーにおいては、キャンプ生活やプログラムへの参加、心理・社会面、健康面でさまざまな問題や課題を抱えることが予想されます。

そこで今大会では問題・課題の解決を求めようとする皆さんの相談に対応する場として、各サブキャンプを中心に大会本部でも対応する体制を構築します。

サブキャンプカウンセリングルーム

参加隊の皆さんに一番近いカウンセリングとして各サブキャンプに設置します。ここでまず相談してください。

開設期間：8月4日（土）～8月10日（金）予定

設置場所：各サブキャンプ本部地域

本部カウンセリングルーム

大会本部のスタッフの相談に対応します。

設置期間：8月3日（金）～8月10日（金）

設置場所：中央救護所に隣接して設置

対応時間：9:00～20:00

カウンセリングの受け方

カウンセリングを必要とする人は、まずサブキャンプカウンセリングルームに相談をしてみてください。ただし、本部カウンセリングルームへの相談を妨げるものではありません。

こんな悩みがある人は、すぐに相談に来てください。

- ・お腹や頭がずっと痛い。
- ・不安でしょうがない。
- ・人が多すぎて疲れた。
- ・ちょっと休みたい。1人になりたい。
- ・家に帰りたい。
- ・仲間と上手くいかない、いじめられている、無視されている、暴力を受けている。
- ・セクハラ、パワハラに悩んでいる。

大会運営スタッフの生活、宿泊

県連盟派遣団本部スタッフとサブキャンプ本部のスタッフは、当該県連盟の参加隊が所属するサブキャンプで生活し、それぞれのサブキャンプ本部で給食を受けます。大会本部各部の大会運営スタッフは、部署ごとに指定されたサブキャンプ等で生活し、本部食堂で給食を受けます。

スタッフの宿泊テントは各自で持参するか、有償のテントを予約のうえ利用します。有償のテントは、配属されたサブキャンプまたは部署を通じて事前に予約します。

場 所	部 署
アドベンチャーサブキャンプ	プログラム部
プレバリーサブキャンプ	売店部
チャレンジサブキャンプ	広報部、全体行事部、会場運営部
鉢ヶ崎オートキャンプ場	総務部、安全・救護部、輸送部、配給・食堂部

※部署の人数によっては場所が変更になる場合があります。

スタッフの献立は、大勢の食事を簡便に提供するため、自炊調理である参加隊用献立とは異なります。また、スタッフ用献立にも基本食、食事制限に対応したハラル食、ベジタリアン食があります。

本部食堂を利用する際には、はし、スプーン、コップなどをお持ちください。また、朝食時には、昼食を受け取るためのエコバッグなどをお持ちください。

昼食は、業務場所で食事ができるよう朝食時に携行食を配給します。やむを得ず遅参するスタッフについては、夕食からの給食となりますので、入場日の昼食は各自で手配してください。

大会運営スタッフの献立

	朝 食	昼 食	夕 食
8月2日(木)			マーボー丼、スープ、杏仁豆腐、ラスク
8月3日(金)	惣菜パン、ゼリー、野菜・果実ジュース	おにぎり、ラスク、お茶	中華丼、スープ、チーズ蒸ケーキ、ポテトチップ
8月4日(土)	おにぎり、けんちん汁、ゼリー、お茶	惣菜パン、菓子パン、ゼリー、野菜ジュース	ごはん、塩豚カルビ、スープ、ラスク、果実ジュース
8月5日(日)	惣菜パン、ゼリー、野菜ジュース、ヤクルト	おにぎり、魚肉ソーセージ、味付け大豆、お茶	ごはん、スープ、牛タンシチュー、ミニチーズサンド
8月6日(月)	おにぎり、お吸い物、ゼリー、お茶、ヤクルト	惣菜パン・菓子パン、野菜ジュース、ゼリー	ビーフカレー、スープ、ポテトチップ
8月7日(火)	惣菜パン、ゼリー、野菜・果実ジュース、ヤクルト	おにぎり、チーズかまぼこ、味付け小魚、お茶	ごはん、スープ、鶏クリームチーズ煮、チーズ蒸ケーキ
8月8日(水)	おにぎり、味噌汁、ゼリー、お茶、ヤクルト	惣菜パン・菓子パン、野菜ジュース、バナナ	牛丼、味噌汁、杏仁豆腐、ラスク
8月9日(木)	惣菜パン、ゼリー、野菜ジュース、ヤクルト	おにぎり、笹かまぼこ、味付け小魚、お茶	ごはん、鶏のトマトソース煮、スープ、ポテトチップ
8月10日(金)	おにぎり、味噌汁、ゼリー、お茶	惣菜パン、ラスク、果実ジュース	親子丼、お吸い物、プリン、ラスク
8月11日(土)	惣菜パン、オレンジジュース		

大会運営スタッフの入場・退場

大会運営スタッフの入場は、8月2日に会場に到着し、夕食までに設営を完了します。また、退場は参加隊の退場完了後、8月11日(土)の朝から夕刻までを予定しています。

会期中、会場内では個人の車両使用はできません。スタッフが乗車してきた車両は、蛸島漁港の留め置き駐車場を利用します。



大会運営スタッフのバス利用

公共交通機関を利用する大会運営スタッフは、会場の珠洲鉢ヶ崎まで特急バスと路線バスを乗り継いで入場します。

● JR 金沢駅から

金沢駅から珠洲市まで、特急バスが1日5便運航されています。会場の珠洲鉢ヶ崎までの直通便が無いため、路線バスへの乗り継ぎが必要です。金沢行きについては本数が限られますが、珠洲鉢ヶ崎から出発する便があります。

珠洲特急線・珠洲宇出津特急（北陸鉄道株式会社）

- ・ 金沢駅～すずなり館前
片道大人1人2,710円
- ・ のと里山空港～すずなり館前
片道大人1人1,300円

木の浦線（北陸奥能登バス株式会社）

- ・ すずなり館前～りふれっしゅ村
片道大人1人320円

宇出津珠洲 A 線（北陸奥能登バス株式会社）

- ・ 珠洲市総合病院前～りふれっしゅ村
片道大人1人290円

● のと里山空港から

のと里山空港から会場までの移動は、乗り合いによる「ふるさとタクシー」が便利です。珠洲市内まで一律1,300円となりますが、事前に予約が必要です。予約方法等については、のと里山空港のホームページを参照してください。

〈バスの時刻表〉 出発・到着時刻については、各バス会社の最新の時刻表を確認してください。

金沢駅発→珠洲市行

路線	金沢駅東口		のと里山空港		すずなり館前
珠洲特急	10:40	→	12:50	→	13:36 ※①
珠洲特急	13:10	→	15:20	→	16:06
珠洲特急	14:50	→	17:00	→	17:46
珠洲宇出津特急	16:00	→	18:10	→	19:37
珠洲特急	17:20	→	19:18	→	20:04

路線	乗り換え停留所		りふれっしゅ村 ※③
木の浦線	すずなり館前 14:03	→	14:21
宇出津珠洲 A 線	珠洲市総合病院前 16:50 ※②	→	17:04
木の浦線	すずなり館前 18:18	→	18:36

珠洲市発→金沢駅行

路線	珠洲鉢ヶ崎 ※③		すずなり館前		のと里山空港		金沢駅
珠洲特急	—	→	06:30	→	07:16	→	09:28
珠洲宇出津特急	—		06:40	→	08:07	→	10:19
珠洲特急	07:50	→	08:01	→	08:47	→	10:59
珠洲特急	09:20	→	09:31	→	10:17	→	12:29
木の浦線	りふれっしゅ村 11:31	→	11:49		—		—
珠洲特急	— ※④	→	13:20	→	14:06	→	16:18
珠洲宇出津特急	—	→	12:00	→	13:27		※⑤

※①大会運営スタッフの入場日8月2日のみ、会場の珠洲鉢ヶ崎までの延伸運転を調整しています。時刻等の詳細は今後の情報を参照してください。

※②すずなり館前から珠洲市総合病院前まで徒歩で3~4分で移動できます。

※③路線バスの「りふれっしゅ村」バス停は元気の湯前、特急バスの「珠洲鉢ヶ崎」バス停は珠洲ビーチホテル前となります。

※④大会運営スタッフの退場日8月11日のみ、会場の珠洲鉢ヶ崎からの延伸運転を調整しています。時刻等の詳細は今後の情報を参照してください。

※⑤すずなり館前12:00発（穴水駅前行き）は、のと里山空港で金沢駅西口行き輪島特急への乗り継ぎが利用できます（13:34のと里山空港発→15:36金沢駅西口着）。

ローバーのためのプログラム” ロバモン”

全国ローバースカウト会議（RCJ）運営委員会は、大会に参加するローバースカウトと同年代の指導者の自発的な交流のきっかけを提供するプログラムとして、スマートフォンアプリ「ローバモンスター（通称：ロバモン）」を制作しています。



ロバモンは、このプログラムに参加するすべてのローバーをロバモン図鑑に登録する過程で、交流できるプログラムです。ロバモンに参加している他のローバーと出会うことで、その相手のプロフィールが図鑑に表示されるようになります。そして、そのプロフィールをみれば、出会った相手のことがわかるため、会話のきっかけになるでしょう。

ロバモンは、フリータイムプログラムです。空いた時

間などで、仲間を探し、お互いの情報を交換できます。

ロバモンへの参加は簡単です。最初に、プロフィールを登録します。すると、いつでも仲間探しができる状態なので、ローバーに出会ったらお互いに図鑑登録しましょう。

表示されたプロフィールを見て会話をし、親睦を深めたら完璧です。

このプログラムをとおして、新しい仲間と繋がりませんか。

詳しくは RCJ のホームページ を参照ください。

<http://rcjweb.jp/>

各種メディア

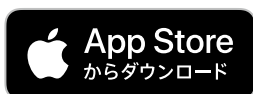
日本連盟公式の SNS では、会場の様子などをお伝えしていくほか、Youtube などでの生配信も計画中です。また、ジャンボリー新聞はデジタル版のみの発行となり、大会 HP や大会スマホアプリなどで配信予定です。

現地では、充電などのサービスは行いませんので、各自でご用意ください。

大会スマホアプリは、さまざまな情報を取得できるほか、デジタルマップや各 SNS などへのリンクなど、アプリならではの機能がついています。参加の有無にかかわらず、ぜひインストールしてください。

各 OS のアプリストアで「ジャンボリー」などで検索するとダウンロードでき、大会ホームページからもダウンロードできます。

なお、会場付近は多くの方が通信をしますので、会期前のインストールをおすすめします。



近日大型アップデートを予定中

今年は能登立国 1300 年

大会開催である 2018 年は、奈良時代の養老 2 年、西暦 718 年に、当時の越前の国から羽咋、能登、鳳至、珠洲の 4 郡を分けて、能登国が立国してから 1300 年という大きな節目の年です。

日本海に開くように位置する能登半島は、当時大陸との交流拠点になっていました。志賀町に現存する福浦港は、中国大陸の日本海側にあった国、渤海の使節団が着来する地に定められており、貴族達にとっては毛皮など貴重な品が持ち込まれるいわば流行発信基地だったそうです。

珠洲市

古くは出雲・佐渡・蝦夷をつなぐ海洋交通の関門だった珠洲市は、古代能登文化の発祥の地と考えられています。能登国の成立後、越中国司の相伴家持が訪れた際には、「珠洲の海に朝びらきして漕ぎ来れば長浜の浦に月照りにけり」と珠洲湾の光景を詠んでいます。その後も平時忠がこの地に配流になったり、珠洲焼の窯が開かれたりと、珠洲はさまざまな歴史物語の舞台となりました。

珠洲市では、2003（平成 15）年に第 9 回日本アグリーナリーを、2006（平成 18）年に第 14 回日本ジャンボリーを開催しました。

能登のキリコ祭りと燈籠山

7 月から 10 月にかけて能登半島の百数十を超える地区でお祭りが行われます。その中でも、奥能登で発祥し、中能登の方へ伝搬していった「キリコ祭り」は、この地に生まれ育った人々にとって特別な祭礼で、現在では「日本遺産」に認定されています。キリコとは、切子灯籠を縮めた略称で、ところによっては奉燈、御明かしとも呼ばれています。

かつては笹に御神灯をつけていた笹キリコから、4 本柱が木製に変わり、漆や金箔、彫刻が施されるようになり、高さや豪華さを競ったことから、各地域ごとに特色のあるキリコが出現したものと思われます。キリコは神輿のお供役として担ぎだされ、無事に御旅所に着くか入宮になるまでの夜道の灯りの役目があります。大会期間中、本物のキリコも展示予定ですので、ぜひ会場での迫力をお楽しみください。

また、珠洲市の春日神社の燈籠山祭りで用いられる「燈籠山」といわれる巨大な山車も 8 月 6 日（月）と 8 日（水）の 19 時頃、元気の湯とアリーナの間を練り歩きます。この山車を引く「曳山体験」チャンスもあるのでぜひお集まりください。



見附島（石川県指定天然記念物）

〔場所〕宝立町鶴岡 〔交通〕宇出津珠洲線・穴水珠洲線「見附島口」徒歩 5 分



揚げ浜式製塩（重要無形民俗文化財）

〔場所〕珠洲市海泊い（主に外浦地区）



キリコ祭り（文化庁日本遺産）



燈籠山（春日神社の燈籠山祭り）

写真提供：珠洲市

ふるさと納税

石川・珠洲市のふるさと納税の返礼品にジャンボリーグッズが登場。5万円は、このふるさと納税でしか手に入らない株式会社モンベルとのコラボレーションによるアタックザック、1万円は各サブキャンプのワッペンセットになります(全て数量限定)。実質2,000円程度(収入による)のご負担ですので、ぜひご検討ください。

ふるさとチョイスのサイトよりお申し込みできます。
<https://www.furusato-tax.jp/>



【B162】17NSJ 記念バックパック



【A161】17NSJ 記念ワッペンセット

大会応援サポーター

「ほくりくアイドル部」が今大会の応援サポーターになりました。「ほくりくアイドル部」は、全国の舞台でも通用する「北陸発信のスター」を見出し育成する一大プロジェクトであり、「音楽 ~Music~」「応援 ~Yell~」「成長 ~Grow (up)~」をテーマに、地域の行事やライブイベント等に積極的に参加し、地元の皆様から愛されるグループを目指しているそうです。

さまざまなコラボレーション企画のほかに、閉会式でのライブパフォーマンスも予定中。詳細は今後大会ホームページに掲載していきます。

ぜひ事前に彼女たちをチェックして、会場にいらしてください。

ほくりくアイドル部ホームページ <http://hkrk.jp/>



ほくりくアイドル部

関連ホームページ

日本ボーイスカウト石川県連盟 第17回日本ジャンボリー情報

能登の観光マップや近隣の店舗情報など、地元ならではの情報が満載です。ぜひチェックしてください!

<http://scout-ishikawa.jp/member-info/17nsj/>

ほっと石川旅ねっと (石川県観光情報ホームページ)

石川県の観光総合ガイドです。観光情報検索、最新イベント情報、お薦めモデルコース等を見ることが出来ます。複数の宿泊予約サイトの宿泊プランを横断検索し、条件にぴったりの宿泊先を素早く探せます。

<https://www.hot-ishikawa.jp/>

すず観光ネットナビネット

珠洲市のみどころやイベント、特産品、アクセスなど、珠洲市の観光に関する情報を掲載したウェブサイトです。

<http://www.city.suzu.lg.jp/kankounavi/index.html>

お問い合わせ

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。なお、大会への参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお問い合わせください。

発行



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3

TEL 03-5805-2634

FAX 03-5805-2908

E-mail 17nsj@scout.or.jp

ホームページ <http://www.scout.or.jp/>